

**県産材利用推進に向けた行動計画（令和2～6年度）  
令和6年度実績について**

令和7年11月

# 県産材利用推進に向けた行動計画（令和2～6年度）

## 令和6年度実績（概要）

指標	評価の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満

項目	区分	【P(Plan)】行動計画目標	【D(Do)】R6実績・評価	【C(Check)】現状分析	【A(Action)】今後の取組	
木造化・木質化の推進	公共建築施設等の 木造化・木質化の推進	木造化： 100%（基準内）	100%（4棟／4棟） （R5:100%）	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 全ての施設において、木造化（基準内施設）及び木質化が図られた。</li> <li>□ 全ての補助施設において、木造化（基準内施設）が図られている。</li> <li>□ 内装の木質化は、事業実施主体が建築コストを勘案し見送られたものがあった。</li> <li>□ 各現場での積極的な取組により木材利用量が増加し、木製型枠および工事用仮設資材の目標を達成した。</li> <li>□ 木材利用量は、計画期間をとおして増加してきている。引き続き積極的な木材利用の取組が必要。</li> <li>□ 木製型枠の使用率は増加したが、調査対象工事の精査等によって木材利用量は減少した。</li> <li>□ 工事用仮設資材の活用については、木製工事看板などに継続して活用されている。</li> <li>□ 市町村によってバラツキが大きく、木材利用が低位な市町村への働きかけが必要。</li> <li>□ 木製事務用品の導入率は、前年度から14パーセント増加した。</li> <li>□ 導入台数は、スマートオフィス化や警察署の建て替えなどにより前年度より大幅に増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 各部局は構想及び設計段階で全建築物の内容をチェックし、木造化（混構造を含む）・木質化を検討</li> <li>□ 施設で木造化・木質化ができないとした場合は、真にやむ得ないものか内容を精査</li> <li>□ 全ての建築物について計画時点で木造化・木質化の検討を要請</li> <li>□ 非住宅建築の相談窓口「ぶらっとホームMoku<sup>(※)</sup>」の紹介による建築設計段階からのサポート ※高知大丸と南国市のモデルハウス内に設置</li> <li>□ 工事資材や仮設資材としての木材利用の推進（丸太柵工、木製バリケード、木製型枠等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局より木材利用事例を紹介</li> <li>・ 林野庁等が実施している公共土木工事への木材利用の検討情報など活用可能な工法の情報収集及び提供</li> </ul> </li> <li>□ 工事資材や仮設資材としての木材利用の推進（丸太柵工、木製バリケード、木製型枠等） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県産材利用地域推進会議において木材利用事例の情報を提供し、市町村の木材使用率の向上を要請</li> </ul> </li> <li>□ 県内の事業者が生産可能な木製品の情報提供</li> <li>□ 早期発注に努め十分な納期を確保</li> <li>□ 事務用備品類導入状況調査を実施し、計画段階からの支援及び進捗確認を実施</li> </ul>
		内装木質化： 100%	100%（7棟／7棟） （R5:100%）	A		
	補助施設	木造化： ヒアリング時に要請	100%（5棟／5棟） （R5:100%）	A		
		内装木質化： ヒアリング時に要請	50%（3棟／6棟） （R5:100%）	D		
積極的な木材利用の推進	県発注工事	木材利用量： 工事費1億円当り12m <sup>3</sup>	11.3m <sup>3</sup> ／億円 （R5:10.2m <sup>3</sup> ／億円）	B		
		木製型枠使用率： 100%	100% （R5:100%）	A		
		木製資材の使用率： 100%	100% （R5:100%）	A		
	市町村発注工事	木材利用量(年間)： 484m <sup>3</sup>	133m <sup>3</sup> （R5:318m <sup>3</sup> ）	D		
		木製型枠使用率： 100%	43% （R5:37%）	D		
		木製資材の使用率： 100%	81% （R5:82%）	C		
積極的な導入	木製事務用備品類導入： 100%	59%（202台／340台） （R5:45% 36台/80台） うち事務机:61%（113/184台） （R5:48% 23/48台）	D			

## 公共建築施設等の木造化・木質化の推進（県有施設）

### 総括

- 全ての施設において、木造化（基準内施設）及び木質化が図られた。

行動計画目標	(R 2 実績)	(R 5 実績)	R 6 実績
○県有施設の木造化 100%	(100%)	(100%)	<b>100%</b> (4棟 / 4棟)
○県有施設の内装木質化 100%	(100%)	(100%)	<b>100%</b> (7棟 / 7棟)

#### 【木造化された施設】

- ・ 牧野植物園栽培技術棟 (高知市) 1棟
- ・ 土佐西南大規模公園施設(宿泊棟・トイレ) (四万十市) 2棟
- ・ 清水高等学校施設 (体育館・多目的教室棟) (土佐清水市) 1棟

#### 【木質化された施設】

- ・ 清水高等学校 (本館) (土佐清水市) 1棟
- ・ 宿毛警察署 (宿毛市) 1棟
- 他 5棟

牧野植物園栽培技術棟（木造2階建て・高知市）



宿毛警察署（鉄筋4階建て・宿毛市）



### 今後の取組

- 各部局は構想及び設計段階で全建築物の内容をチェックし、木造化（混構造を含む）・木質化を検討
- 施設で木造化・木質化ができないとした場合は、真にやむ得ないものか内容を精査

## 公共建築施設等の木造化・木質化の推進（補助施設）

### 総括

- 全ての補助施設において、木造化（基準内施設）が図られている。
- 内装の木質化は、事業実施主体が建築コストを勘案し、見送られたものがあった。

行動計画目標	(R2実績)	(R5実績)	R6実績
○補助施設の木造化 「ヒアリング時に要請」	(79%)	(100%)	<u>100%</u> (5棟/5棟)
○補助施設の内装木質化 「ヒアリング時に要請」	(79%)	(100%)	<u>50%</u> (3棟/6棟)

#### 【木造化された施設の例】

- ・ グループホームあさかぜ(福祉施設)
- ・ 共同生活援助 Re.らいふ(福祉施設)

高知市 1棟  
芸西村 1棟  
他3棟

#### 【木質化された施設の例】

- ・ 上記木造施設
- ・ 黒潮町教育振興交流支援施設

2棟  
1棟

共同生活援助 Re.らいふ(木造2階建て・芸西村)



### 今後の取組

- 全ての建築物について計画時点で木造化・木質化の検討を要請
- 非住宅建築の相談窓口「ぷらっとホームMoku<sup>\*</sup>」の紹介による建築設計段階からのサポート  
※高知大丸5階と南国市十市のモデルハウス内に設置

## 公共土木工事への積極的な木材利用の推進（県発注工事）

### 総括

- 各現場での積極的な取組により木材利用量が増加し、木製型枠および工事用仮設資材の目標を達成した。
- 木材利用量は、計画期間をとおして増加してきている。引き続き積極的な木材利用の取組が必要。

行動計画目標	(R2実績)	(R5実績)	R6実績
○木材利用量（工事費1億円当たり） 12m <sup>3</sup>	(9.5m <sup>3</sup> )	(10.2m <sup>3</sup> )	<u>11.3m<sup>3</sup></u>
○木製型枠使用率 100%	(100%)	(100%)	<u>100%</u>
○工事用仮設資材への木製品の使用率 100%	(100%)	(100%)	<u>100%</u>

### 【主な工種】

- 農業振興部 木柵工、木製型枠、工事用仮設資材等
- 林業振興・環境部 木柵工、残置型枠、木製型枠など
- 水産振興部 木製型枠、工事用仮設資材等
- 土木部 木製防護柵、木柵工（ポット苗植栽）



木柵工

### 今後の取組

- 工事資材や仮設資材としての木材利用の推進（丸太柵工、木製バリケード、木製型枠等）
  - 事務局より木材利用事例を紹介
  - 林野庁等が実施している公共土木工事への木材利用の検討情報など活用可能な工法の情報収集及び提供

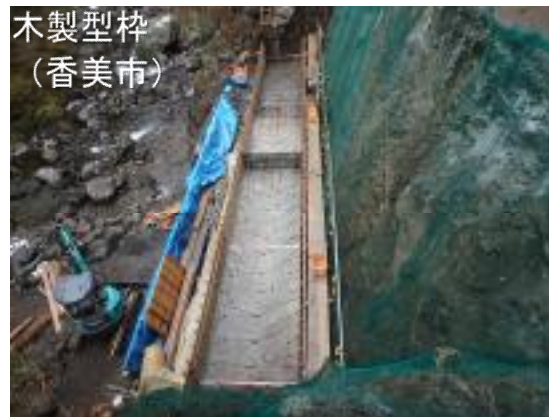
## 公共土木工事への積極的な木材利用の推進（市町村工事）

### 総括

- 木製型枠の使用率は増加したが、調査対象工事の精査等によって木材利用量は減少した。
- 工事用仮設資材の活用については、木製工事看板などに継続して活用されている。
- 市町村によってバラツキが大きく、木材利用が低位な市町村への働きかけが必要。

行動計画目標		(R2実績)	(R5実績)	R6実績
○木材利用量	484m <sup>3</sup>	(329m <sup>3</sup> )	(318m <sup>3</sup> )	<u>133m<sup>3</sup></u>
○木製型枠使用率	100%	(30%)	(37%)	<u>43%</u>
○工事用仮設資材への木製品の利用率	100%	(71%)	(82%)	<u>81%</u>

### 【利用事例】



### 今後の取組

- 工事資材や仮設資材としての木材利用の推進（丸太柵工、木製バリケード、木製型枠等）
  - ・ 県産材利用地域推進会議において木材利用事例の情報を提供し、市町村の木材使用率の向上を要請

令和6年度 市町村発注工事の木材利用に係る「実績」調査表

地域推進 会議名	市町村名	①木材使用量(仮設工・木製型枠含む)		②木製型枠使用率			③工事用資材の木製品使用状況 (看板・バリケード等)			④特記 仕様書 記載の 有無
		使用量m3	主な実績内容(工種等)	型枠対象件数	使用件数	使用率(%)	発注件数	使用件数	使用率(%)	
安芸	東洋町	0.00	—	0	0	0%	0	0	0%	有
	室戸市	0.08	木製型枠	2	0	0%	17	0	0%	有
	奈半利町	2.97	木製型枠	5	3	75%	11	11	100%	有
	田野町	12.00	木製型枠	4	4	100%	4	4	100%	有
	安田町	10.00	型枠工	6	1	17%	21	6	29%	有
	北川村	0.00		0	0	0%	0	0	0%	無
	馬路村	11.86	木製ガードレール、木製型枠	5	5	100%	6	0	0%	無
	安芸市	6.00	木製型枠	9	4	44%	65	53	82%	有
	芸西村	0.00		17	0	0%	23	0	0%	無
	計	42.91		48	17	35%	147	74	50%	
中央東	高知市	15.00	修景施設整備工、擁壁工	6	0	0%	19	19	100%	有
	南国市	3.38		39	0	0%	65	65	100%	
	香南市	2.8	躯体、擁壁工、基礎工	26	19	73%	29	16	55%	有
	香美市	14	木製型枠12.46m3木柵工1.70m3	7	7	100%	62	62	100%	有
	計	35.18		78	26	33%	175	162	93%	
嶺北	大豊町	3.43	コンクリート擁壁工(型枠)	13	13	100%	13	13	100%	有
	本山町	0.00		17	0	0%	12	0	0%	無
	土佐町	2.00	道路改良工事	8	8	100%	14	14	100%	無
	大川村	0.00		0	0	0%	7	7	100%	有
	計	5.43		38	21	55%	46	34	74%	
中央西	土佐市	0.00	—	0	0	—	25	25	100%	有
	いの町	10.39	木製型枠	11	10	91%	64	47	73%	有
	仁淀川町	11.00	擁壁工(木製型枠)、木柵工	4	4	100%	9	4	44%	有
	佐川町	1.87	重力式擁壁等	4	3	75%	33	33	100%	有
	越知町	0.00	—	0	0	—	67	67	100%	有
	日高村	3.30	擁壁工、水路工	10	6	60%	20	20	100%	有
	計	26.56		29	23	79%	218	196	90%	
須崎	須崎市	0.00		0	0	0%	45	45	100%	有
	中土佐	0.00		0	0	0%	21	21	100%	有
	梶原町	6.10	丸太柵工、木製型枠	10	1	10%	55	25	45%	有
	津野町	11.00	丸太柵工・木製型枠	14	14	100%	21	21	100%	有
	四万十町	0.00		1	0	0%	108	108	100%	有
	計	17.10		25	15	60%	250	220	88%	
幡多	四万十市	1.50	仮設工	3	0	0%	72	53	74%	有
	宿毛市	0.79	木製型枠	6	6	100%	39	35	90%	有
	土佐清水市	0.90	道路改良工事、橋梁補修工事	5	4	80%	4	4	100%	有
	黒潮町	0.50	型枠工事	31	1	3%	29	13	45%	有
	大月町	2.00	落石対策工事	1	1	100%	20	20	100%	有
	三原村	0.00		0	0	0%	14	14	100%	有
	計	5.69		46	12	26%	178	139	78%	
合計	132.87		264	114	43%	1014	825	81%		

①木材使用量

「使用量m3」・・・本工事、仮設工、木製型枠(m3換算)に利用された、合計数量を記載する。

「主な実績内容(工種等)」・・・本工事、仮設工、木製型枠等、採用された、主な工種内容を記載する(丸太土留工・丸太柵工・木製型枠等)。

【参考】木製型枠m3換算=0.01139m3/m2

②木製型枠使用率

「型枠対象件数」・・・型枠が必要とされるコンクリート工事の契約件数とする。(※小構造物のみの場合は対象件数には含まない)

「使用件数」・・・木製型枠が設計、施工された契約件数を記載する。

③工事用資材の木製品使用状況

「発注件数」・・・公共工事の発注(契約)件数を記載。

## 木製品の積極的な導入

### 総括

- 木製事務用品の導入率は、前年度から14パーセント増加した。
- 導入台数は、スマートオフィス化や警察署の建て替えなどにより前年度より大幅に増加した。

行動計画目標	R 2 実績	R 5 実績	R 6 実績
○木製事務備品類 導入100%	9%	45% (36/80台)	59% (202/340台)
(事務机)	7%	48% (23/48台)	61% (113/184台)



事務机（議会事務局）



会議机（清水高校）



書棚（幡多林業事務所）



応接セット（宿毛警察署）

### 木製品を導入できなかった主な理由

- 破損や配置替えへの対応など急を要したため、木製品の検討や納期までの十分な期間を確保できなかった
- 木製品を導入する予算が不足した
- スペースの都合や必要な機能を満たせる木製品がなかった

### 今後の取組

- 県内の事業者が生産可能な木製品の情報提供
- 早期発注に努め十分な納期を確保
- 事務用備品類導入状況調査を実施し計画段階からの支援及び進捗確認を実施

## 事務用備品類への木製品の導入に係る各部局の実績

### (1) 木製品の導入

部局名	物品	実績												【目標%】			
		R2			R3			R4			R5				R6		
		台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率		台数	うち木製	達成率
総合企画部	事務機 会議用机 書棚 ロッカー									9	9	100%	1	0	0%	100	
総務部		7	0	0%	1	1	100%	2	0	0%	6	1	17%	1	0		0%
危機管理部														82	44		54%
健康政策部											9	0	0%	2	0		0%
こども・福祉政策部		3	0	0%	2	1	50%	1	0	0%							
文化生活部					31	1	3%							9	3		33%
産業振興推進部		3	0	0%	4	2	50%				8	0	0%	8	0		0%
商工労働部											13	9	69%	1	0		0%
観光振興スポーツ部		11	11	100%							2	0	0%				
農業振興部		7	0	0%										3	0		0%
林業振興・環境部		17	5	29%	16	16	100%	1	1	100%	9	9	100%	2	2		100%
水産振興部								1	0	0%				6	0		0%
土木部		11	0	0%	7	1	14%				5	1	20%	20	15		75%
会計管理局																	
各種委員会		1	1	100%	10	0	0%							37	37		100%
教育委員会(県立学校含む)		117	0	0%	62	0	0%	13	0	0%	6	6	100%	70	65		93%
公営企業局		23	0	0%	3	0	0%	4	0	0%	19	0	0%	2	0		0%
警察本部					404	17	4%							96	36		38%
計		200	17	9%	540	39	7%	22	1	5%	86	35	41%	340	202		59%

※スチール等との混構造も含むものとする。

(参考)事務機抜粋

部局名	適用物品	実績												【目標%】			
		R2			R3			R4			R5				R6		
		台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率	台数	うち木製	達成率		台数	うち木製	達成率
総合企画部	事務機									3	3	100%	1	0	0%	100	
総務部										2	1	50%					
危機管理部													51	32	63%		
健康政策部										1	0	0%					
こども・福祉政策部					1	1	100%										
(旧)文化生活スポーツ部					1	1	100%							3	3		100%
産業振興推進部					2	2	100%										
商工労働部											11	8	73%				
林業振興・環境部					1	1	100%				5	5	100%				
水産振興部														6	0		0%
土木部					4	1	25%				4	1	25%	5	0		0%
各種委員会														37	37		100%
教育委員会(県立学校含む)					8	0	0%	13	0	0%	5	5	100%	41	40		98%
公営企業局					1	0	0%				17	0	0%	1	0		0%
警察本部					223	15	7%							39	1		3%
計				241	21	9%	13	0	0%	48	23	48%	184	113	61%		

※スチール等との混構造も含むものとする。

## 施設の整備に併せた緑化木植栽の推進

（参考）

その他（緑化に関する状況）	R5実績	R6実績
○県有施設	2件／9件（22%）	3件／8件（38%）
○補助施設	0件／9件（0%）	1件／9件（11%）

### 【緑化事例】

木材利用（木造建築の整備）と一体となった緑化木の植栽



清水高校・校舎本館（土佐清水市）  
（ヤブツバキ、キリシマツツジ、生垣マサキ）



清水高校・体育館・多目的教室棟（土佐清水市）  
（キリシマツツジ）